



上越市と「ものづくり支援パートナー協定」を締結しました



11月4日(水)に、新潟県立上越テクノスクール内に設置された上越ものづくり振興センターの開設式において、上越市と「ものづくり支援パートナー協定」を締結しました。

同センターは、上越市の産官学・農商工連携を支援し、併せて企業の経営相談、技術の高度化や人材育成などによる上越市の産業振興を目指して設置されたものです。

協定の締結は同センターの開設式の中で行われ、布村学長が協定書に調印しました。その後、本学の教育研究などの取組について、地域産学交流センター長の宮澤正幸教授が紹介しました。

なお、協定の内容は以下のとおりです。

■目的

上越市と本学の連携・協力のもと、工業振興と産業の発展及び人材育成において寄与することを目的とする。

■協力事項

- ・ 上越地域の産業振興に関すること。
- ・ 本学の教育研究に資すること。
- ・ 産業人材の育成に関すること。
- ・ その他、上越市と本学が必要と認めること。

本学は、本年5月にも、魅力ある地域社会の発展と次代を担う人材の育成、大学の魅力づくりに寄与することを目的に、柏崎市・新潟産業大学との連携協定を締結しています。

これからも地域産業界・社会等との連携を促進し、地域に開かれた大学として、これまで以上に教育研究資源を積極的に還元していくよう努めていきます。



関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/12/post_209.html

全日本ライフセービング選手権大会に出場しました

10月10日(土)・11日(日)の両日、神奈川県藤沢市の片瀬西浜海水浴場で行われた全日本ライフセービング選手権大会に、環境科学科1年生の牧口航平さんが出場しました。

大学進学を機に、小さい頃から憧れていたライフセーバーの資格取得を決意した牧口さんは、本学入学後、先輩と共にライフセービング同好会を設立。今夏、ベーシックサーフライフセーバーの資格を取得し、柏崎市内の海岸で監視活動を行いました。

その後、各種大会への出場を続ける中、9月12日(土)に和歌山県西牟婁郡白浜町の白良浜海水浴場で行われた全日本ライフセービング選手権大会西日本地区予選会では、競技種目の1つ「サーフレース」で見事5位に入賞し、全日本選手権に進出しました。

全日本選手権での競技結果は、残念ながら予選敗退でし

たが、「海の危険、事故から人々の命を守るため、もっと上級の資格を取得したい。同好会で一緒に活動する仲間もどんどん増やしていきたい。」と今後の抱負を語ってくれました。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/11/post_194.html



Hondaエコノパワー燃費競技全国大会に出場しました

10月10日(土)・11日(日)の両日、ツインリンクもてぎ(栃木県)スーパースピードウェイで行われた「第29回本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」(省エネカーレース)に自動車同好会が参加しました。

10日(土)の練習走行は無事完走し、燃費239.5km/リットルを記録しましたが、翌11日(日)の決勝では他車と接触して走行不能となり、残念ながらリタイヤしました。

しかし、公式記録にはなりませんでしたが、練習走行では目標としていた「初出場した昨年の記録の2倍の燃費」を達成しました。来年は、さらに今年の記録の2倍を目指すため、現在は車両の改良に励んでいます。

今後は全日本学生フォーミュラ大会(高



専、短大、大学、大学院などの学生を対象とした、フォーミュラスタイルの小型レーシングカーの競技大会)への出場も目指しています。



【Hondaエコノパワー燃費競技全国大会について】

一人乗りの自作車両にホンダ製50cc4ストロークガンリンエンジンをベースに改良したエンジンを搭載し、1周約2.4kmのコースを平均時速25km/h以上で7周走行し、燃費を競います。7クラスあり、大学はグループIII(大学・短大・高専・専門学校クラス)に出場します。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/11/post_197.html

新潟産業大学「紅葉祭」に参加しました

「新潟工科大学学友会」は、学生活動を統括して学生生活をより活発化することを目的として、本年4月に設立されました。

これまで、市民による新潟産業大学・新潟工科大学新入生歓迎会の企画・運営に始まり、工科大祭やエコアクション21認証取得に向けた環境活動への取組など、様々な活動を行っています。



10月10日(土)・11日(日)には、隣接する新潟産業大学で行われた第21回紅葉祭に参加し、スーパーボールすくいのブースを出展し、同大学の学園祭と一緒に盛り上げました。なお、6月6日(土)に行われた工科大祭には、同大学学友会の皆さんが初めて参加しています。

今後も両大学の学生同士の活発な交流を図るとともに、本学や地域の活性化に貢献してくれることを期待しています。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/10/post_192.html

キャリアアドバイザーを配置しました

本学では、文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）の採択を受けた「地域の将来を担うものづくり技術者のキャリア支援プログラム」の一環として、本年10月からキャリアアドバイザーを配置しました。

毎週木曜日にキャリアアドバイザーによる就職相談や模擬面接、履歴書・エントリーシート等の添削指導などを行い、進路・就職問題を学生と一緒に解決していきます。昨今の雇用情勢は大変厳しい状況にありますが、「就職に強い大学」として、これからも学生が安心して就職活動に専念できるよう取り組んでいきます。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/11/post_206.html



哈爾濱（ハルビン）理工大学の学術交流団が来日しました



10月26日(月)～11月2日(月)に、本学と学術交流協定を締結している中国の哈爾濱理工大学の学術交流団4名が訪日しました。

10月27日(火)に学術交流懇談会と学内施設見学、翌28日(水)には日中技術交流公開シンポジウムと学科見学を行い、その後、一行は国内の視察研修に向かいました。

同大学とは、1996年に学術交流の覚書を交わし、2005年に正式協定を結んでいます。学術交流では、両大学の相互訪問、客員研究員・留学生の受け入れなどを行っています。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/11/post_196.html

産学共同研究がテレビ・新聞で紹介されました

情報電子工学科の佐藤栄一准教授が信州大学、新潟ウオシントン株式会社柏崎工場、中越工業株式会社(柏崎市)、株式会社ウィンベル(長野県)と共同開発した小型発電機「ジェット水車」の実証試験の様子が10月13日(火)のNHK「新潟ニュース610」ほか4番組、10月14日(水)の新潟日報新聞ほか4紙で紹介されました。



新潟県魚沼市の「駒の湯山荘」に設置された水車は、自噴する温泉水をジェット噴流化して羽根を回すことで発電する仕組みです。

同山荘には電気が通じておらず、ディーゼル発電機で自家発電している「ランプの宿」として知られています。

同山荘のご主人は、「今後の実証試験で電気の安定供

給が可能になれば、衛星電話の電源などに利用したい。」とジェット水車に期待を寄せています。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/10/post_193.html



平成21年度公開講座の全日程が終了しました



10月28日(水)に、技術講座・実験編(全4回)が終了しました。

今回の技術講座では、地域の一般市民の方を対象とした「柏崎の自然水の水質を調査しよう!」を開講し、簡単な機器を用いて地元柏崎の河川等の自然水の理化学的性質や微生物の状況を、分子模型の作製や水質調査実験などを行いながら調査しました。

今年度の公開講座は、今回の技術講座をもちまして全日程が終了しました。今後も皆様に興味を持っていただけるようなテーマを取り上げていきますので、よろしくお願いいたします。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/11/post_195.html

高大連携協議会を開催しました

11月17日(火)に柏崎工業高等学校と、12月7日(月)に長岡工業高等学校と高大連携に関する協議会を開催しました。

この協議会は、両校生徒が大学教育にスムーズに移行できるように、出張講義・大学見学の実施や、両校出身者の本学での修学状況、学生生活状況等の情報交換を行っています。

柏崎工業高等学校とは平成12年度から数えて11回目、長岡工業高等学校とは昨年度に続いて2回目となる今回の協議会では、高等学校から大学進学に向けた効果的な学習指導の方策や、高等学校の行う研究発表会や研究などへの協力について、それぞれの立場から活発な意見交換を行いました。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/11/post_202.html

http://www.niit.ac.jp/news/2009/12/post_210.html



青少年のための科学の祭典が本学で開催されました

11月21日(土)に本学において、14回目となる「青少年のための科学の祭典2009柏崎刈羽大会」(主催:柏崎市教育委員会、柏崎市立教育センター、新潟工科大学ほか)が開催されました。本学は3ブースを出展し、あいにくの天候の中、約900人の方が来場しました。

また、11月21日(土)・22日(日)の両日には、三条市の県央地域地場産業振興センターで「青少年のための科学の祭典2009新潟県大会」が開催され、本学もブースを出展し、約7,800人の方が来場しました。

両大会とも学生がブース運営に協力し、大勢の子供たちに科学の不思議と面白さを体験してもらいました。子供たちやその保護者の方と接することで、学生も貴重な経験を積むことができました。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/11/post_204.html

http://www.niit.ac.jp/news/2009/12/post_207.html

